

建設農政委員会

所管事務調査

建設農政委員会では、去る6月1日から2日の2日間、佐賀県佐賀市にあるNPO法人まちづくり機構ユマニテさが及び佐賀県三養基郡みやき町の視察研修を行ってまいりました。

まず、NPO法人まちづくり機構ユマニテさについては、佐賀市TMO（タウンマネージメント機関の略称）構想が策定されたことをきっかけに、平成21年に佐賀商工会議所内に事務所を置き事業を開始しており、中心市街地における商業まちづくりの運営・管理、また、様々な主体が参加するまちの運営を横断的・総合的に調整し、プロデュースしております。

今回主に視察したのは、このユマニテが事務局として運営している、街なかの賑わいを取り戻すことを目的としてはじめた「佐賀【わいわい!!コンテナ】プロジェクト」であります。4つのコンテナが佐賀特有の風景であるクリークに面した広場に設置されており、各コンテナには図書館、交

流、チャレンジなどのテーマがあります。空いているときはいつでも利用でき、国内外から厳選して集めた雑誌や絵本・マンガが無料で読める、サークル活動やワークショップの開催ができる、期間限定のお店やギャラリーを開けるなど、街なかに人々が気軽に集うきっかけづくりの場所として活用されています。

地域の魅力向上のために、今後このような小さくとも様々なイベントを毎日のように開催し、お客様が来場するたびに新しい発見や体験ができる仕掛けをすることで、来場者数を伸ばしていくとのことでありました。

次に、みやき町のPFI方式での町営住宅建設はすでに実績が出ており、第1弾及び第2弾においては、主に新婚夫婦や18歳以下の子供を持つ家庭を対象に入居率100%となっております。また、第3弾として4月に完成したばかりの「オリーブ館」は様々な世帯を対象とした3階建て2棟、5階建て1棟の総戸数59戸もすべて入居済みでありました。

この『みやき町定住総合対策事

業』を行うにあたっては、みやき町議会でも勉強会等を開催したことにより、移住・定住やPFI方式での施設建設への意識も高まり、特別委員会を設置し、議員提言をまとめ、町執行部とのすり合わせを行ったとのことでありました。

視察した両団体とも移住・定住や交流人口の増加に力を入れ、人口減少やまちの賑わいを創出するための対策を行ってまいりました。全国の自治体が同様の取組みに力を入れる中では、常に問題意識とスピード感をもった対応が必要であると感じられました。

当委員会でも、さらに魅力ある・選ばれる町になるようこれからも調査・研究を進めてまいりたいと思っております。



(オリーブ館)

議会を傍聴してみませんか

第3回定例議会は

9月7日(水)からの予定です。

◎広報編集委員会

委員長	山田 正樹
副委員長	青木 輝明
委員	斉藤 政雄
委員	内海 和子
委員	渡邊 昇